

「ドンドン語ろう！ in飽田」 (平成29年8月10日、飽田まちづくりセンター 飽田公民館多目的ホール) 意見交換内容 参加者：59名

No.	ご意見	回答	局	担当課
1	<p>(1) 人口減少問題について、待機児童問題について 人口減少について、市長はまず説明された。マイナス面ばかり強調するのはなく、ではどのように対策をたて、人口を増やし、その施策を実行していくのか。最近でいえば、待機児童問題もあったかと思うので、市の取り組みをききたい。</p>	<p>【市長】 ○人口を増やすことについて 先ほど、熊本市における総人口の長期的推移の説明のなかで、マイナス面での印象を与えてしまったかもしれないが、実は、現在の熊本市の合計特殊出生率が1.5くらいで、全国平均より少し高い。</p> <p>待機児童問題については、二年前、就任直後から取り組んでおり、昨年5月に待機児童の非常事態宣言をしている。取り組みが功を奏し、2年連続で、4月1日現在の待機児童数が0となった。(厚労省の基準で統計をとった場合。)</p> <p>人口減少問題や待機児童問題も含めてだが、「熊本は子育てがしやすい」と思うような環境を整えなければならない。そのための施策、対策を様々にとっているところである。この二年間で子育て環境は少しずつ変わっていると思っている。</p> <p>それだけでなく、全体的な子育て支援政策は充実させようと、かなり力を入れている。人口増をどうしていくのか。</p> <p>仕事場が近くにあるということが、有利に働くのだらうと承知しているが、飽田の東か西か南か、このように考えるのではなく、車での通勤範囲を考慮して市全体で考えることも必要かと思う。</p> <p>熊本市に企業を誘致するにも、熊本は子育てがしやすい環境にある、優秀な人材が多い(大学が多い)ことなどをアピールしていければと考えており、その意味でも子育て環境の充実が重要になってくる。</p> <p>国においては、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」をたてたが、市は平成28年3月に「しごと・ひと・まち創生総合戦略」を策定し、熊本地震からの復旧・復興への取組みを盛り込むため平成29年3月に「しごと・ひと・まち創生総合戦略」の改訂を行った。「しごと」を冒頭に持ってきた理由は、やはり仕事がないと若い人が来ない、残らないとの考えからである。若い人が希望をもって働ける場所を熊本に作りたい。</p> <p>東京で生活するより、熊本で生活するほうがトータルで考えてよいと思ってもらえるようにしなければならないし、そこをアピールできるようにしたい。</p> <p>自分も東京に住んだ。通勤時間、住環境(家賃)など大変に厳しかった。都内では自分の給料では暮らせない、それを考えるともう東京で暮らそうと思わない。人間らしい生活が、熊本にいればできる、いい環境で子育てができる。</p> <p>関東から、夫の転勤で熊本市に転居されたご家族が、夫のみ関東へ逆単身赴任しているという例を聞いた。理由は、熊本は子育てしやすいからということである。</p> <p>我々も、熊本は、暮らしやすい、子育てがしやすいという面をアピールしなければならない。</p>	<p>政策局 健康福祉局</p>	<p>政策企画課 子ども支援課 保育幼稚園課</p>
2	<p>(1) 人口減少問題と企業の誘致について この地域を発展させるためには人口増が必要でないかと考えており、そのためには生活プランが大切だろう。 飽田西校区では、漁連が農協の横に新しく事務所を建設した。熊本市は、このような企業の誘致を考えているのか。誘致が増えれば働く人も、人口も増える。市において、飽田地域にどのような誘致の計画があるか、教えてほしい。</p>	<p>国においては、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」をたてたが、市は平成28年3月に「しごと・ひと・まち創生総合戦略」を策定し、熊本地震からの復旧・復興への取組みを盛り込むため平成29年3月に「しごと・ひと・まち創生総合戦略」の改訂を行った。「しごと」を冒頭に持ってきた理由は、やはり仕事がないと若い人が来ない、残らないとの考えからである。若い人が希望をもって働ける場所を熊本に作りたい。</p> <p>東京で生活するより、熊本で生活するほうがトータルで考えてよいと思ってもらえるようにしなければならないし、そこをアピールできるようにしたい。</p> <p>自分も東京に住んだ。通勤時間、住環境(家賃)など大変に厳しかった。都内では自分の給料では暮らせない、それを考えるともう東京で暮らそうと思わない。人間らしい生活が、熊本にいればできる、いい環境で子育てができる。</p> <p>関東から、夫の転勤で熊本市に転居されたご家族が、夫のみ関東へ逆単身赴任しているという例を聞いた。理由は、熊本は子育てしやすいからということである。</p> <p>我々も、熊本は、暮らしやすい、子育てがしやすいという面をアピールしなければならない。</p>	<p>政策局 経済観光局</p>	<p>政策企画課 企業立地推進室</p>

「ドンドン語ろう！ in飽田」（平成29年8月10日、飽田まちづくりセンター 飽田公民館多目的ホール） 意見交換内容 参加者：59名

No.	ご意見	回答	局	担当課
3	<p>(1) まちづくりセンターと飽田地区の活性化、児童館の設置について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりセンターのことは、今日ここで詳しく説明を受けるまで、よくわからなかった。まちづくりセンターになったことで、私は、飽田町からいろんなものがとられたと思っていた。私は公民館の指導員もしていた経験を持つので、とてもにぎわっていた時代を知っているだけに心が痛んだ。 ・現在、飽田まちづくりセンターには、閑散とした広い空きスペースがある。このスペースを利用して児童室をつくってほしい。 <p>熊本市は、子育て支援についていろんな対策をとっていると、承知している。児童館、児童室又は子育て支援センターなど、子育てに関する施設がない地域は、飽田と●●である。このような中、地震の影響もあり、近頃は若い世代の方々が飽田に来ており、自分が実施している絵本を通した活動にも若いお母さん方は多く参加される状況であるので、飽田には子育ての核になる施設が必要だと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一方で、飽田には高齢者も多いという特色もあるので、今後のことも考え、高齢者も集い、乳幼児も集い、小中高生も集う、そのような施設を、飽田まちづくりセンターの空きスペースに、ぜひ設置してほしい。 	<p>【市長】</p> <p>○飽田のまちづくりについて 飽田町からいろんなものがとられたとのお気持ちをうかがった。ここは町長がいて町役場があったのに、なぜこうなったのか、そう思われることと思う。 地域からとられたということではなく、再編と思ってほしい。職員を有効に使うための再編という措置をとらせていただいた。ただハコモノがあり、そこに職員が座っているのではなく、いかに有機的に職員が動いてまちづくりに機能させるかが、重要なことであると考えている。 飽田は地域力が高く、非常にすばらしい地域であると思う。地域のコミュニティの力をもっと強くしていく、それを次の世代へつなげていく、そのような取り組みをしていきたい。</p> <p>○児童館の設置について そのような中での、児童館または児童室の要望のお話であるかと思う。 市域全体の話しをすると、熊本市内には、12ヶ所の児童館と3ヶ所の児童室がある。中央区は1館・2室、東区は3館、西区は2館、南区は3館・1室、北区は3館あり、実は、南区は児童館・室の設置数が一番多い。幸田、南部、城南に児童館、天明に児童室があり、ご意見にあったとおりである。 天明にいても南部にいてもよそものと感じるとおっしゃる。そのようなことはないだろうが、皆様にとってはできるだけ地元でとられていることはあるのだろうと思う。</p> <p>飽田は、飽田まちづくりセンターとして、窓口業務を減らし、業務縮小をした。 1階に約80㎡、2階に約180㎡の合計260㎡の空きスペースがある。市では、市全体のこのような市施設、空きスペースをできるだけ適正に活用しようと検討しているところ。 一例としてあげると、先日、中央区の中央公民館を解体した。今後は、公民館としてだけではなく、南千反畑町にある中央老人福祉センターと統合する形で再編することになり、これは見直しであり、センター跡地は民間売却することになるかと思う。 このように、統廃合もふくめ、将来になるべく大きな負担を残さないよう、市民の皆様が一番いい形となるよう取り組んでいく。 このような資産マネジメントの考えをベースとして取り組んでいくので、児童館をやり直すという明確な答えはここではできない。スペースとニーズがあることは、意見をいただいて認識したが、スペースだけでの問題ではなく、おもちゃをおけばよいものでもない、そこに人員を配置しなくてはならないし、他地域との関係も総合的に考えなくてはならない。もちかえらせて検討させていただきたい。</p> <p>-----</p> <p>※広聴課 注※ 児童館設置についてのご意見と回答は、No.8（1）、No.11、No.13もご参照ください。</p>	<p>市民局</p> <p>健康福祉局</p> <p>財政局</p>	<p>地域政策課</p> <p>生涯学習課</p> <p>子ども支援課</p> <p>高齢介護福祉課</p> <p>資産マネジメント課</p>
4	<p>(1) 児童館の設置について</p> <p>私には孫がおり、五年前に子育てに関わった。その経験を話したい。飽田地域には児童室がないので、当時乳児（8ヶ月）の孫を連れて天明の児童室に通ったものだ。さまざまな催しがあり、大変助かった。成長し、幼児期になったら南部公民館の「母親クラブ」に参加したが、そこでは母親達が集い、子どもの面倒を見ながらミニバレーをするなどの活動をし、楽しく過ごすことができた。子どもにとっても、保育園等への入園前に集団で活動することで、発達に良い刺激を受けるのではないかと思う。</p> <p>しかし、天明にいても南部に行っても、参加者の方々にはそのような気持ちは全くないだろうが、私は自分が飽田在住であることからよそののだなと感じてしまう。飽田まちづくりセンターの空きスペースに児童館若しくは児童室を作ってほしい。</p>	<p>-----</p> <p>※広聴課 注※ 児童館設置についてのご意見と回答は、No.8（1）、No.11、No.13もご参照ください。</p>	<p>健康福祉局</p>	<p>子ども支援課</p>

「ドンドン語ろう！ in飽田」 (平成29年8月10日、飽田まちづくりセンター 飽田公民館多目的ホール) 意見交換内容 参加者：59名

No.	ご意見	回答	局	担当課
5	<p>(1) 道路拡幅について 私の家の近くで火事があった。(平成28年3月2日、自分の班、24戸あるうちの軒が火事になった。) 私の家の前の道が狭いので消防車が通れず右往左往し、とうとう軒燃えてしまった。 そこで、自分は、自宅前の道路拡幅を西部土木センターにお願いしたところ、西部土木センター(総務課及び工務課(当時))から職員が来て、そのような事情であれば自治会の陳情書を出してほしいといわれた。 町内会長と平成28年3月17日に陳情書を提出している。震災のために対応が遅れていると思うが、自分の敷地は市に寄附するので、道路拡幅をよろしく願います。</p>	<p>【西部土木センター所長】 H28.3.17に陳情書を出していただいたとのこと、土地を寄附するので道路を広げて欲しいとのお願いだったとうかがった。 本日、ここに資料を持ってきていないため詳細な説明ができないが、一般的なお話をさせていただくと、陳情書をいただくと、まずは現地調査をし、土地登記の状況を確認したりなどの作業を行うこととなる。 詳細な場所を確認させていただき、もちかえり、どこまで作業が進んでいるか確認してから、後日後回答をさしあげたい。 (ご意見者、承諾のご発声あり。)</p> <p>【市長】 西部土木センターも一所懸命にやっている。しかし、土木センターも震災復旧に全力をあげて取り組んでいるところであり、大変であることはご理解いただきたい。すぐにはむりでも対応させていただきたい。</p> <p>-----</p> <p>【西部土木センター総務課追記】 H29.8.17要望者宅を訪問し、敷地寄附部分について、車庫及び小屋の撤去(個人負担)後、道路課施工時期に合わせ所有権移転を行うことを説明した。</p>	<p>消防局 都市建設局</p>	<p>警防課 西部土木センター 総務課</p>
6	<p>(1) 小学校の建て替えについて 飽田東、南小学校が古くなっている。建て替えをお願いしたい。</p>	<p>【市長】 小中学校の施設整備については、これまで施設の耐震化を優先して実施してきたところであり、耐震化が終了したことから、課題であったエアコンの整備に取り組んでおり、中学校については、既に設置が完了し、小学校は今年度中に設置する予定である。 現在、震災に伴う施設の復旧を優先に取り組んでいるところであり、また、学校施設は避難所でもあることから、防災面での対応としてトイレの改修やマンホールトイレなど、防災面での対応も行なっているところ。 老朽化などの理由での建て替えには、学校の建設時期で計画の順番があるので、ご理解いただきたい。</p>	<p>教育委員会</p>	<p>施設課</p>

「ドンドン語ろう！ in飽田」 (平成29年8月10日、飽田まちづくりセンター 飽田公民館多目的ホール) 意見交換内容 参加者：59名

No.	ご意見	回答	局	担当課
7	<p>(1) 地震の際の市職員対応について 市職員の地震の対応には、大変感謝している 私の見知っている職員は、家族と語らう時間もなかった人、体重が減った人もおり、夜中遅くまで対応され大変だった。昇給してあげてほしい。</p>	<p>【市長】 お褒めいただき、感謝申し上げます。</p> <p>-----</p> <p>【人事課 追記】 この度は職員に対しお褒めの言葉をいただきまして、ありがとうございます。地震の際には、全職員非常時対応で被災者支援に尽力してまいりました。 今後も、被災された皆様が1日も早く安全・安心で元気・活力に満ちた生活を取り戻すことができるよう、職員一同、取組んでまいりますので、よろしくお願いたします。</p>	総務局	人事課
	<p>(2) 津波対策としての、公園の高台化について 昨年の熊本地震では、4月16日の地震で津波警報が発令されて驚いた。新港道路は大変な渋滞で進まず、なかには道路を逆走する車もあって大変に危険な状態だった。 このような事は二度とおきてはいけない。高潮、津波対策として、この地域に、高台の公園を整備してほしい。</p>	<p>【市長】 昨年は、本震後の津波注意警報でパニックを起こしてしまったことを行政は大いに反省しなくてはならない。 実際に反対の車道を含むすべての道路が渋滞してしまったことは把握している。これの検証を行わなければならない。 防災無線等でキチンとお知らせする、車で避難しても無理だと理解していただく、どう避難したらよいか日頃からいろんな災害の想定をしていただくというような、地域の防災を地域の皆様と一緒に考えていかななくてはならない。 地域コミュニティ活動をとおして、ハザードマップなどを行政と地域が一緒につくって行くことになると思う。公園の高台化については、地域の皆様一緒にこれから考えていきたい。</p>	政策局	危機管理防災総室
	<p>(3) 飽田東校区の運動場について 飽田東校区の液状化で、雨が降ったら運動場が使えない状態である。子ども達がいとも走り回ってられるよう、少しでも早く運動場を整備してほしい。</p>	<p>【市長】 早急に対応しなくてはならないと思う。今日は教育委員会からの参加者がいないので、もちかえらせていただく。</p> <p>-----</p> <p>【施設課 追記】 飽田東小学校については学校と協議し、裏門から昇降口までの通路の水はけの解消を優先し対策を講じたところ。 運動場については、特に状態の悪い部分を今年度中に改良する予定。</p>	教育委員会	施設課

「ドンドン語ろう！ in飽田」 (平成29年8月10日、飽田まちづくりセンター 飽田公民館多目的ホール) 意見交換内容 参加者：59名

No.	ご意見	回答	局	担当課
8	<p>(1) 児童館の設置について さきほど、市長から、南区には児童館が三つあると説明があった。 自分の子育てのころ、自家用車は一人一台ではなく一家一台の時代だった。天明に児童館があるからといって天明には行かない。 今のお母さんたちも、遠いところにはなかなかいかないのではないか。以前は通っていたコミュニティバスもなくなっている。児童館は、身近なところにあるほうがよい。</p>	<p>【市長】 スペースの問題だけでなく、また、いろいろと検討させていただきたい ----- ※広聴課 注※ 児童館設置についてのご意見と回答は、No.3、No.4、No.11、No.13もご参照ください。</p>	健康福祉局	子ども支援課
	<p>(2) 地域担当職員について さきほどの市長の説明によれば、地域まちづくりセンターの地域担当職員は小学校校区単位とするとのことだった。小学校校区に一人であれば、飽田まちづくりセンターの地域担当職員が二人であることはおかしい。三人の配置ではないのか。</p>	<p>【市長】 地域担当職員が2人であるということは、飽田をないがしろにしているわけではない。このまちづくりセンターでも2人以上配置している。飽田でいえば、3校区を二人でまわることとなる。 地域担当職員ははじまったばかりで手探りの状態である。地域の皆様と一緒に地域を作り盛り上げていきたい。 ----- 【地域政策課 追記】管轄校区1~4校区で2名配置しており、飽田地域3校区については2名配置している状況。</p>	市民局	地域政策課
	<p>(3) 子どもたちの読書活動の推進について 飽田は中学校校区として、平成12年に文科省の読書推進の指定を受け、三つの小学校を含め中学校校区で読書に対する取り組みを行った。それ以降、飽田の小中学校では、読書に力をいれている。 その取り組みの一つとして、4月29日を「子ども読書の日」として各公民館等でイベントが開催されていたように思う。今年度はやらないのか。</p>	<p>【生涯学習課 追記】 公民館図書室では、第三次熊本市子ども読書活動推進計画に基づき、「子ども読書の日」「こどもの読書週間」を中心に子どもの読書活動の広報・啓発活動を推進している。 また、飽田公民館では、読み聞かせ等のボランティア団体と協働で2月にイベントの開催を計画している。(例年9月に開催しているが、今年度は公民館の災害復旧工事予定のため、2月に実施予定) 【飽田まちづくりセンター 追記】 「子ども読書活動推進計画」にかかる事業として毎年9月に実施していたが、今年度は当センターの改修工事計画の影響から2月に実施することとしている。</p>	市民局	生涯学習課 飽田まちづくりセンター

「ドンドン語ろう！ in飽田」 (平成29年8月10日、飽田まちづくりセンター 飽田公民館多目的ホール) 意見交換内容 参加者：59名

No.	ご意見	回答	局	担当課
	<p>(1) 火葬場跡地の除草について 市が所管している、会富町の火葬場跡地の雑草がはえている。周囲は水田だ。農協から管財課に、対応してほしいとお願いしたが、除草については業者に入札をかけなくてはならないという。雑草を放置すれば虫が発生するため田植え前に対応しなければ意味がない。現在は、隣接の水田所有者がそれぞれに除草剤を撒くなどして、対応している。しかし、会富の農区で、農協から草刈りを借りればその代金3,000円で除草できる。それを市に提案したところ、やはり業者に入札せねばならないという。 現場を見に来てもらいたい。3,000円で除草できるのであれば、業者にこだわらず、臨機応変に地元をお願いしてもいいのではないか。</p>	<p>【市長】 ・市の管轄地の草刈は、地域にまかせてはいかがかとの提案をいただいた。ご提案を担当課に伝える。 ・入札を行うのは通常の手続きである。しかし、3,000円でできるのであれば安い。副市長から担当部署に言って後日連絡をさせていただく。地域担当職員とも連携をとってやらせていただく。 ・役所は、法令等に則って行わなければならないので、できないこともある。しかし臨機応変にできる余地があれば、地域の皆様が助かり、しかも安いとなれば市も助かるので、地域にお願いしたほうがよいのではないかと思う。法令等に問題がなければやってもらいたい。</p> <p>-----</p> <p>【資産マネジメント課 追記】 当該地の除草については、地域の方との話し合いの結果、今回は市が業者に委託し平成29年9月20日に実施した。 また、市有地の除草を地元団体等へお願いする手法については、関係各課と協議し検討中。</p>	財政局	資産マネジメント課
9	<p>(2) 西部土木センターへのお礼 西部土木センターにはお礼もいたい。二ヶ月前、農免道路で電球がきれている箇所を見つけて自治会などに要望したが、なかなか進まなかった。ところが、西部土木センターに話をしたら、すぐに来てくれて現場を確認し、すぐに対応してくれた。お礼をいう。</p>	<p>【市長】 感謝の言葉をいただき、ありがたい。 ご要望の件については、担当部署も把握をしているようなので、農政部門、土木部門、地域担当者として連携して対応にあたりたい。よろしく願います。</p>	都市建設局	西部土木センター道路課
	<p>(3) 暗渠の泥上げと道路冠水について ・飽田まちづくりセンターの西側道路の下が農業用水路になっている。飽田町役場ができた当時に、その用水路を四方貼りとし道路幅を広げることとなり、二、三年に一回は泥上げする条件で用水路を暗渠とすることに了解した。しかし、二十数年間、泥上げの要望をしたがなにもなかった。 ・このたびの地震で、白川からの昇り水で用水路に泥が20から30センチたまった。井手よりこちらの四方のほうが高くなり、これが道路冠水の要因にもなってないだろうかと思う。農区からも要望があっているかと思う。暗渠となっている用水路の掃除をしてほしい。</p>	<p>【西部土木センター】 市街化調整区域の水路の維持管理は、基本的に農政部門でお願いしており、財産管理は土木センターで行っている。 まずはこのあと、詳細にお話を伺い、土木センターの担当者と南農業振興課の担当者とで協議したい。</p> <p>【農水局長】 水路と道路の話となる。どのような対応ができるか、のちほど詳細にお話を伺いたい。</p> <p>【市長】 農政部門、土木部門と連携して対応にあたりたい。</p>	都市建設局 農水局	西部土木センター道路課 南農業振興課

「ドンドン語ろう！ in飽田」 (平成29年8月10日、飽田まちづくりセンター 飽田公民館多目的ホール) 意見交換内容 参加者：59名

No.	ご意見	回答	局	担当課
	<p>(1) 県道畠口川尻停車場線の冠水について 県道畠口川尻停車場線は、1) 飽田病院前付近、2) 並建からの三叉路にきたところ(県道並建熊本線の交差点東側付近?)、3) 私たちの集落から少しでてきたところ(市道八分字町交差点付近?)、の三箇所て雨のたびに冠水する。 道路冠水の改善を要望したい。</p>	<p>【西部土木センター】 ・県道畠口川尻停車場線の冠水について 県道の冠水については、県道畠口川尻停車場線の飽田病院前、県道並建線の交差点東側、市道八分字交差点などで、集中豪雨時に発生していることを把握している。冠水がひどい状況では通行止めなどの対策をとっているところ。 このあたりは市街化調整区域であり、宅地の周りに田畑が広がっている。水を送るための用水路が田畑の周囲にあるが、この用水路は排水路も兼ねており、水稲時期にはほとんど満水状態。そこに大雨が降れば用水路から水が溢れ道路冠水する状況かと思う。 解消するためには、利水と治水の両面が必要であり用水路の調整が必要である。冠水すれば、市の農政部門と道路部門で協議して、堰上げの高さを若干低くするよう農区にお申し調整してもらっている。それにより若干水位が下がっている状況。まずは、この状況を把握させてもらいたい。 今後も農政部門や関係機関と連携して対応し、検討させていただきたい。</p>	<p>都市建設局 農水局</p>	<p>西部土木センター 道路課 南農業振興課</p>
10	<p>(2) 県道畠口川尻停車場線の舗装について 平成27年度に219号線の舗装改修について、飽田西校区から要望を出したと思うが、今年また要望する予定である。 ここは飽田西小学校の通学路になっている。中高生の通学路でもある。雨の日にみに来てほしい。子どもたちは、車が通るたびに、自分たちに水がかからないように、足元を傘で覆うようにして通学している。 7月に穴が開いていると土木センターに電話を入れたら二日後に補修された。早急に対応してもらいありがたいが、穴を補修するようなレベルではなく、子どもたちが危険な状態にある。舗装のやり直しをお願いしたい。 まちづくりセンターの所長、地域職員に、いい人を配置してくれた。感謝する。</p>	<p>・畠口川尻停車場線の舗装が悪い件 現在対応中のところもあるので、要望書を提出いただいた場所なのかどうか確認したい。詳細な場所を教えてください。 舗装が傷んだ場合への通常の対応については、業者と年間契約して、迅速に対応するようにしていた。 しかし、昨年の地震で毎日どこかが陥没し舗装業者もフル稼働で現場対応していた状況である。今回のこともすぐには対応できずに二日後で申し訳なかったが、そのような事情があることをご理解いただきたい。できる限り迅速に対応するよう心掛けています。</p> <p>【農水局長】 農水局は、水を管理する立場。農区の方や土地改良区の方をお願いして、大雨のときには川からの用水を止め、入らないようにするなど対応している。現在、同じ水路が用水も排水も兼ねている。用水と排水を分ける形にし、水田に水を張っているときでも、大雨時には排水路に水が流れていくように工事を行い、事業をすすめてまいりたい。土木センターとも調整しながら対応してまいりたい。</p> <p>【市長】 担当部署も要望箇所を把握しているようである。農政部門、土木部門、地域担当職員とが連携して対応にあたりたい。</p> <p>----- 【西部土木センター道路課 追記】 自治会長と立会いし、水が溜まる原因となる土砂撤去を行うこととした。その上で、舗装補修については、打換えを前提に検討することとした。</p>	<p>都市建設局</p>	<p>西部土木センター 道路課</p>

「ドンドン語ろう！ in飽田」 (平成29年8月10日、飽田まちづくりセンター 飽田公民館多目的ホール) 意見交換内容 参加者：59名

No.	ご意見	回答	局	担当課
11	<p>(1) 児童館はもちろんほしいが、先ほどの市長の話にもあった、人口も減っていき超高齢社会が到来するといった今後のことを考えると、みんなが集える居場所づくりを考えてはどうか。子育て世代も集え、高齢者も集える、小学生や中学生も集える、そのような場所を考えて欲しい。</p> <p>待機児童ゼロとのこと。がんばっていると思う。</p> <p>しかし、保育士が足りないときく。今は、発達障がいの問題、就学してからの不登校、いじめの問題等がある。このことを考え、次は保育の質を考えてほしい。</p> <p>子育てにしても高齢者にしても、地域みんなで考えていかななくてはならないと思う。</p>	<p>【市長】</p> <p>○飽田まちづくりセンターの空きスペース利用について 児童館のお話のなかで、子どもや高齢者など地域の方が集える場、交流の場にできないかとの話があった。 見守りや子育ての取り組みが、そのような場で地域の方と一緒にできればと、私も思った。健康福祉部門にも話したい。</p> <p>○保育士の養成、質の向上について 11番さんのほか、15番さんからもお話があった。 市では、保育士の養成に力を入れているところ。保育の量だけでなく保育の質を向上させていく必要がある。 保育士免許をもっているが事情があって働けない方もいる。働けない要因を分析し、そのような方に研修をして保育園の現場に戻ってきていただくなどの仕組みを考えられないか。 慢性的な人材不足の原因の一つに、ご提案にあったような交通面での事情もあるだろう。 市は市営バスがなくなり、民間のバスしかないので、バス会社等にも話しをし、難しいかもしれないが、5時半で終バスは確かに厳しい状況であると思うので、交通不便地帯で若い方がどう働くか、交通面での検討もしていきたい。 飽田には、それぞれに幼保小中連絡協議会があり、組織がしっかりされているので、ご提案の取り組みの土台となる可能性があるのではないかと。ご提案の取り組みができるかどうか勉強させていただき、検討してみたい。</p> <p>----- ※広聴課 注※ 児童館設置についてのご意見と回答は、No.3、No.4、No.8（1）、No.13もご参照ください。</p>	健康福祉局	<p>子ども支援課</p> <p>高齢介護福祉課</p> <p>保育幼稚園課</p>

「ドンドン語ろう！ in飽田」 (平成29年8月10日、飽田まちづくりセンター 飽田公民館多目的ホール) 意見交換内容 参加者：59名

No.	ご意見	回答	局	担当課
	<p>(1) 水検定1級の試験が難しいことについて 水検定を受検しようと思う人は、もともと水を大切さ、美しさを知り、地下水を守りたいと考えている方たちばかりだ。努力もされ、受検もされていると思うので、そこを考慮して一人でも多くの方が一級に合格するようにしてほしい。</p>	<p>【環境局長】 ○水検定一級が難しすぎるについて 水検定は、それぞれの能力に応じて1~3級を設けている。これまでに多くの方に受検いただいているが、最近受験者数も伸び悩んでいるようなので ご提案の内容を研究させていただきたい。ただし、確かに難しいが、チャレンジしたいという方もいらっしゃる。これからの水検定の活性化に向けた課題の一つとして研究するというご理解いただきたい。</p> <p>-----</p> <p>【水保全課 追記】 「くまもと水検定」は、世界に誇る熊本の水（地下水）について学び、広げ、守る活動に繋げていただくため、基礎的な3級試験から専門的な知識を問う1級試験を実施している。ご意見いただいた、1級試験の難易度については、これまで懸命に学習され、努力されている方々のためにも、問題の難易度を落とさぬように工夫しているところ。 本市としても、多くの方に試験を通して熊本の水の地下水についての知識を広げていただきたく、くまもと「水」検定公式テキストブック以外にも、市ホームページなどを活用し、情報提供や過去問題の掲載等を行なっている。ぜひ、これらをご活用いただき、試験に挑戦していただければと思う。</p>	環境局	水保全課
12	<p>(2) 水守認定制度について 中無田閘門に水守（みずもり）さんがいる。 水守さんがいるところは、必ずその水を守っている方々がいる。これらの方々は、高齢であり、水検定の受検は難しい。しかし、誠心誠意、地下水を守っておられる方々だ。 そこで、地域からの推薦があれば「みずもりさん1級」など認定されてはどうか。 例えば、延命水や長命水を守っている方々については、島崎町の地域の方から推薦するなどすれば、市で実態調査して認定するなど、このような認定制度を新設してほしい。</p>	<p>【環境局長】 ○水守さんは、平成28年度末で、189名いる。 熊本の水の素晴らしさを伝えていただくには、もっと熊本の水守さんに活躍いただくことが必要だと思うので、ご提案の認定制度も検討させていただきたい。</p> <p>-----</p> <p>【水保全課 追記】 水守制度は、「水を守る」「水を生かす」人材と活動を掘り起こし、異業種・異分野の水守同士の交流を促し、活動の輪を広げることで、皆さんの手で熊本の水環境の保全や水文化の継承、魅力発信を進めていくものである。 熊本の水の素晴らしさを伝え広げていただける方なら、「くまもと水検定」1級の合格者でなくとも、どなたでも水守になることができる。（※登録の際は受講（通信可）が必要。） 本市としても、水守の輪が更に広がるよう啓発していくので、地域の皆様のご協力を願いたい。</p>	環境局	水保全課
	<p>(3) 水に関するアピールについて 8月1日に水の日になんで、講演会などされたようだが、市では近頃は水にたいするアピールが少ないのではないかと思います。</p>	<p>【環境局長】 ○水の素晴らしさの発信について アピールが少ないとのこと。いろいろな形で発信をしているところだが、まだまだ足りないようなので、工夫を凝らして、全国に熊本の水の素晴らしさを発信していきたい。</p> <p>-----</p> <p>【水保全課 追記】 本市の水に関するアピールとして、毎年7月1日からの夏季の節水重点期間オープニングパレードをはじめ、県や関係団体が実施するイベント等で水に関する広報・啓発を実施しているところ。 今後は更に、関係機関等と連携しアピールの場を広げていけるよう努めてまいります。 なお、今年の「水の日」（8月1日）には、国の中央行事「水を考えるつどい」において、大西市長が「熊本地震から学んだこと～未来へつなぐ生命の地下水～」と題して基調講演を行い、全国に向け、熊本の水の素晴らしさを発信したところである。</p>	環境局	水保全課

「ドンドン語ろう！ in飽田」 (平成29年8月10日、飽田まちづくりセンター 飽田公民館多目的ホール) 意見交換内容 参加者：59名

No.	ご意見	回答	局	担当課
13	<p>(1) 道路冠水について</p> <p>・501号線は、無田口のところが・(せきしょうたい?)・になるものだから、その東側の第6町内はつねに浸水している状態である。そこに住んでいる人が車を浸水から回避させようとして、とても困難な目に遭っている。コミセンや飽田のグラウンド等に車を運んで、そこに回避させて欲しいといつも頭を下げている。</p> <p>よければ、車の回避場所としてここを利用してよいなどと、きちんと場所をきめてほしい。</p> <p>・孫代の第6町内の公園のところは、そこに行くまでに冠水してしまうので、避難所にはならない。その解消のために、501号の手前の〇〇の改修を大至急おこなってほしい。最近稼動しかかっているようだ。</p> <p>進捗状況を教えてもらえれば、自分が町内に説明ができ、しばらく待つように言える。県が対応しているようだが、西部土木センターでも把握して自治会に情報提供してもらえればと思う。</p>	<p>【西部土木センター】</p> <p>進捗状況だが、県で行っている除川(よけがわ)の河川改修のことかと思う。除川の河川改修は、河口側から1.8キロメートルを改修済みであるとのこと。国道501号までの約1.4キロメートルが未改修の状況である。</p> <p>河川改修幅も足りないということで、その影響で大雨時に上流で冠水をおこしている。県に確認したところ、平成14年に事業が中断していたが、平成26年から再開し、用地買収や設計を行っているとのことである。平成29年度の状況は、詳細設計と未収用の用地買収を計画しているとお聞きしている。一日も早く除川の改修をしてほしいと、引き続き県に要望していきたい。</p> <p>-----</p> <p>【南区役所総務企画課 追記】</p> <p>飽田コミュニティセンターの駐車場(10台分あり)については、利用者用なので、回避用としてきちんと決めることは困難だが、管理人に声を掛けていただければ空きスペースへの駐車は可能。</p> <p>-----</p> <p>【スポーツ振興課 追記】</p> <p>飽田グラウンド駐車場については、常勤している管理人へ声をかけていただければ、可能な限り(台数等)対応する。また、夜間など管理人が不在の場合は、駐車場に施錠していないので、緊急時には必要に応じ使用いただき、翌日に管理人へ連絡をお願いしたい。</p>	南区役所 経済観光局 都市建設局	総務企画課 スポーツ振興課 西部土木センター 道路課
	<p>(2) 児童館の設置について</p> <p>自分は、民生委員もやっている。児童館について、南区には他の区に比べて設置数が多いとの説明がさきほどあったが、人口も増えており、飽田校区にはやはり必要である。まちづくりセンターにスペースもあるのだから、ぜひ、検討をお願いする。</p>	<p>※広聴課 注※</p> <p>児童館設置についてのご意見と回答は、No.3、No.4、No.8(1)、No.11をご参照ください。</p>	健康福祉局	子ども支援課

「ドンドン語ろう！ in飽田」 (平成29年8月10日、飽田まちづくりセンター 飽田公民館多目的ホール) 意見交換内容 参加者：59名

No.	ご意見	回答	局	担当課
14	<p>(1) ごみステーションの補助について ごみステーションを一基買うのに7万円する。今有るステーションは10年以上前のもので、古くなってきた。補助金は3万5千円から5万6千円くらいしかない。これは消毒するため、清掃用具を買うためのものである。毎日使うごみステーションは市で調達してもらえないか。もしくは別枠で補助してほしい。買えば10年持つものだ。</p>	<p>【環境局長】 管理支援補助として、助成金を出している。熊本地震のあとにごみ出しマナーが悪くなっているといろんな地域から話を聞いているところであり、地域の皆様にご苦勞をおかけしている。そのような中、支援金を有効に活用いただき、清潔なステーションを保っていただいていることにご尽力いただき、感謝申し上げます。 ごみステーションの設置費用については、持ち帰らせていただき、どのような支援ができるのか環境局の中で検討させていただきたい。</p> <p>【市長】 ごみはライフラインと同じでとても大事な問題だ。地震のときに身にしみた。その中で、ごみステーションをどのように維持管理していくのかを考える必要がある。ステーション取替えの時期も考えて検討したい。</p> <p>【ごみ減量推進課 追記】 ごみステーション管理支援補助金交付要綱に基づき、町内自治会等の世帯数に応じて予算の範囲内で補助を行っている。今後は、平成29年5月に実施した自治会に対するアンケート調査の結果や、いただいた意見を基に、支援策について検討していきたい。</p>	環境局	ごみ減量推進課
	<p>(2) 道の駅について 地域活性化のために、道の駅を整備してはどうか。飽田はなすびの生産地。57号から51号までは道の駅がない。生産物を販売する場所(地消地産)と温泉施設をつくれれば、地域の活性化にもつながる。住民定着にもつながる。</p>	<p>【市長】 道の駅は、市内には1箇所しかない。「すいかの里植木」が道の駅の一か所目だ。城南は国土交通省の道の駅ではなく、市が設置した直売所としての位置づけである。</p> <p>【農水局長】 農産物の直売所を飽田に作ったらどうかのお話をいただいた。飽田は、なすびの一大産地であるが、東京に出荷している状況で、市内の直売所に提供いただけるのかが、一番の課題なのかなと思う。 城南と植木に直売所を設けているが、安定的に市民の方に食べていただけるためにどう出荷するかが一番の問題であり、そのために出荷者の協議会をどう作っていくのが課題となっている。 特売所は国の補助金も活用できるが、ある程度大きなエリアで考えなければ農産物を市民に安定的に供給できないので、まずは、地元はどう出荷するか、そこから考えていただければと思う。</p>	農水局	農業・ブランド戦略課

「ドンドン語ろう！ in飽田」 (平成29年8月10日、飽田まちづくりセンター 飽田公民館多目的ホール) 意見交換内容 参加者：59名

No.	ご意見	回答	局	担当課
	<p>(1) 路線バスの運行について (終バスが早すぎる) 保育園を経営している。さきほど保育士不足の話があったが、それに関連しての要望になる。 229号線にバスは来るが5時半過ぎに終バスとなる。車のない職員 (保育士) を雇えない。働き方に影響がある。同じ市内でバスの運行時間帯に差がありすぎるのは、いかがなものか。帰着バスがないということが、地域に住民が定着することにも影響するので、市が調整できないか。</p>	<p>【市長】 ○保育士の養成、質の向上について 11番さんのほか、15番さんからもお話があった。 市では、保育士の養成に力を入れているところ。保育の量だけでなく保育の質を向上させていく必要がある。 保育士免許をもっているが事情があって働けない方もいる。働けない要因を分析し、そのような方に研修をして保育園の現場に戻ってきていただくなどの仕組みを考えられないか。 慢性的な人材不足の原因の一つに、ご提案にあったような交通面での事情もあるだろう。 市は市営バスがなくなり、民間のバスしかないので、バス会社等にも話しをし、難しいかもしれないが、5時半で終バスは確かに厳しい状況であると思うので、交通不便地帯で若い方がどう働くか、交通面での検討もしていきたい。</p>	<p>健康福祉局 都市建設局</p>	<p>子ども支援課 交通政策課</p>
15	<p>(2) 通学路について 飽田南小学校の前の道路は、見通しの悪いS字カーブだが、子どもの帰宅時間帯に、大型トラック等が大変なスピードで走っていく。通学路でもあるので、スクールゾーンを広げるなど対策を考えてほしい。</p>	<p>【西部土木センター】 小学校前のS字カーブが危ないとお話であった。県道畠口川尻停車場線のお話かと思う。 通学路については、学校、警察、PTA、道路管理者 と合同点検を行っている。平成24年に全国で児童生徒が死傷する痛ましい事故が相次いで発生したことから、始まった取り組みである。 飽田南小については、平成27年に合同点検を行ったが、お話のS字カーブ地点については、当時も指摘を受けている。 合同点検後に、歩行者がわかりやすいよう、路側にカラー舗装したり、運転者に注意を促すために学童注意という大文字をいれたり、対策をとった。今後も児童生徒が安全に通学できるように、関係団体と連携して対策をとってまいりたい。</p> <p>-----</p> <p>【西部土木センター道路課 追記】 地域ニーズ担当者協議においても議題として取り上げられており、カラー舗装部分の延長等について対応していくこととしている。</p>	<p>教育委員会 都市建設局</p>	<p>健康教育課 西部土木センター道路課</p>